第9回　スポーツ経営とイノベーション

工学系研究科技術経営戦略学専攻 37-176839 田村 浩一郎

大相撲ビジネスの市場規模を10年で3倍にする

上記の命題を解くために，今回は以下の点について考察する．

現在，相撲界では，公益財団方針日本相撲協会から各力士に対して給料や報酬が払われている．各相撲部屋は，こうした公益財団からの収益に加えて寄付が主な収益源になっており，市場規模は120億円であると推察される．

協会の強化として，NHKがメインとなっている放送収入に対して，インターネットの放送収益を期待することができる．また，大相撲の競技としての関心や認知度を高める試みが重要であると考えられる．

現在の問題として，日本相撲協会は公益財団法人としての運営が行われている．それゆえ，業界を活性化するのに必要な収益事業を独自に行うことが難しく，革新的な仕組みの導入がなされにくいことが問題であると考えられる．透明性や運営に対する意見反映がなされやすい状況を作るといった，組織づくりが重要であろう．